



多文化共生時代の福祉を考える

こころの家族

No.351

2023年5・6月



公園でお花見(故郷の家・神戸)

韓国大統領

尹錫悦(ユン・ソンニョル)韓国大統領ご夫妻が日韓首脳会談のため一泊二日の予定で3月16日に来日、同日昼食を兼ねた在日同胞懇談会があり、私も参加した。幸い私は大統領ご夫妻の隣だったので貴重なお話を伺う事が出来た。

尹大統領は微用工問題で日本の希望を受け入れ、12年ぶりの日韓会談に臨むという非常な決意をやってきた。日韓友好のためだ。一生を韓国孤児に捧げた私の母、田内千鶴子だったらどのような励ましをしただろう。

きつと頭を下げ、小さな声で「ありがとうございます」そう言っ て頭を上げる事なく「恥ずかしいです」と言い、許しを待つ姿勢だつ たに違いない。日本が韓国の良いパートナーになつて欲しい。

金山政英元駐韓国日本大使は、日本がいくら大国とうまく外交をしても、隣国の韓国とうまくいかないと砂の上に家を建てるようなものだと言った。そのことを真剣に受け止めるべきである。

「大統領選挙候補3人の家庭を探访するテレビ番組で、大統領の料理の腕前に驚きました。一日や二日で出来る事ではない。早くから料理を作つておられたんですね。特に玉子料理のだし巻きは美味し そうでした」

私が言うと、夫人の金建希(キム・ゴンヒ)女史が「だし巻きは 本当に美味しいですよ」と認めた。

5月には広島サミットが開催される。重要な課題が山積している と思うが、心を癒す時間を作り奥様に捧げる家庭料理で交流する事 ができたら、日本の皆さんも喜ぶだろう。あるいはテレビ局で企画 して世界の男性指導者が奥様に捧げる料理を紹介しても良いだろう。 家族から始まる民主主義 democracy である。

男女平等の今日、男性でも料理を作る人が増えて来たが、早くか ら料理を作り奥様に捧げて来た尹大統領は「家族から始まる民主 義」を実践して来たと思う。

80歳の私が妻に捧げる料理は何だろう。今からでも料理を練習し てみたい。

社会福祉法人こころの家族

尹基 (Trauchi Motoi)

もくじ

ヘッドテーブルにて.....	2p
「ありがとう」メッセージ募集中	2p
日韓キリスト教コンベンションご案内...	3p

ラジオ体操好評/南第二地域包括...	3p
職員さん登場.....	4p
インタビュー/中島孝夫さん.....	6~7p

ワンポイント体操、韓国料理.....	5p
おんどう.....	8~9p
ちいさな芽、おたより紹介.....	10p

ヘッドテーブルにて

2023.3.16

尹基

尹大統領の冒頭のスピーチは日韓関係改善の必要性がよくわかる内容でした。着席して、初めにお隣の金建希

女史にご挨拶をしました。大統領は、同じテーブルの人たち皆に話を聞いていきました。留学生には学校・学科などを聞かれました。私には「共生園の物語はミュージカルにするのがいいですね」とおっしゃられ、大統領の関心の深さに頭が下がりました。そして金建希女史に父・尹致浩と母・田内千鶴子の結婚写真を見てもらいました。「お母さんは美人ですね」といわれ「母も喜ぶと思います」とお礼を述べました。

「在日同胞懇談会」尹大統領ご夫妻のテーブルにて同席の方々



岸田文雄内閣総理大臣夫
人と尹錫悦韓国大統領夫人
の金建希女史。お二人が、世
界の孤児たちのために『国連
孤児の日』制定を進めていた
だきたい。その出会いの場と
して、在日コリアンと日本人
が暮らす故郷の家と韓国の
養護施設・木浦共生園にお招
きしたい。
私の胸にそんな思いが広が
りました。
そして、早く帰って、故郷
の家のおじいちゃん、おばあ
ちゃんたちに報告しなきゃと
思いました。
※ヘッドテーブル宴会など
で主賓が座るテーブルのこと

「木浦のみなさま、ありがとう」メッセージ

田内千鶴子生誕111周年に向け、韓国木浦では木浦市民への感謝碑の建立計画が進んでいます。皆さまからの「木浦市民ありがとう」メッセージも続々と集まりつつあります。その一部をご紹介します。

*弱さを覚えていた一人の日本人女性、田内千鶴子さんを木浦の皆様は愛し助けて下さいました。それは三千人もの子供たちを養って下さる神様の大きな愛の働きでしたが、皆様がこの女性に注いで下さった惜しみない愛に今改めて心から感謝申し上げます。木浦の皆様の上に天の父なる神様からの愛と恵みが豊かに注がれますようお願い申し上げます。

*木浦市民の皆様へ
共生園の働きの為にいつもご協力くださり、ありがとうございます。ユン・チホ牧師と田内千鶴子夫人によって始められた共生園の働きが今も引き継がれ続けられていることに大きな感動を覚えています。心からご協力とそして感謝碑の建立に感謝致します。

*大阪教会の伝道集会で田内千鶴子さんが韓国の木浦で孤児の母として働かれた映画をよく見ました。最後には市民葬の様子を描かれていました。大変感動しました。木浦の方々に感謝しています。ありがとうございます。

*田内千鶴子さんの歩まれた人生に木浦のみなさまが寄り添って下さりありがとうございます。

「木浦のみなさま、ありがとう」メッセージは引き続き募集中です。

お問い合わせは Tel 03-3644-0555、Fax 03-3644-0556 E-mail:tokyo@kokorono.or.jp

第2回

日韓親善キリスト教コンベンション

日韓首脳が12年ぶりにシャトル外交を再開し、新時代を迎えました。この失われた10年の間に、時代は大きく変化し、超高齢社会が進んでいます。キリスト教界もまた多くの課題を抱え、本来の使命と役割を模索しています。昨年10月、韓国木浦で「第1回日韓親善キリスト教コンベンション」が開かれ、成功裏に終わりました。今年6月には大阪で第2回コンベンションを開くことになり、韓国から牧師、教会リーダーをお招きします。

日韓両国が、時代が変わっても変わることのないキリストの愛に根ざし、お互いに良き隣人として、愛し合い、許し合い、助け合う機会となることを願っています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

と き 2023年6月30日(金) 午後5時～8時
と ころ 大阪・シェラトン都ホテル(近鉄上本町駅直結)
会 費 お一人1万円 定員100名

テーマ 「日韓新時代——和解と共生
 超高齢社会を迎えた教会の課題と使命」

日本側代表 高田義三(実行委員長)、村上好伸(会長)
 清水昭三(共同会長)、柚 浩二(同)、中島孝夫(総務)

韓国側代表 権 龍植、李 昌錫

趣旨説明 尹 基 「初めに祈りがあった」
発 題 清水昭三「日本教会の課題と使命」
 権 龍植「韓国教会の課題と使命」

〔問い合わせ・申し込み〕

事務局 〒565-0836 大阪府吹田市佐井寺 4-53-3
 ニュージージーランド大阪教会内 TEL 06 6387 8178
 藤森真人 090-6249-9395
 (ニュージージーランド大阪教会チーム牧会牧師)
 多胡元喜 090-9305-6763 (こころの家族 理事)

〔後 援〕

中島大祥堂、JMC(ジャパン・ミッションセンター)、国家朝餐祈祷会、シェラトン朝餐会、日本 CBMC、神戸平和研究所、大阪弟子教会、サンビルダーKK、社会福祉法人こころの家族、ニュージージーランド大阪教会、カリスチャペル、高石聖書教会



地域みなさんと「♪一、二、三」

南第二地域包括支援センターのラジオ体操

保健師や社会福祉士、主任ケアマネジャーなどの専門的なスタッフを配置して高齢者や家族の総合相談、虐待の防止、早期発見、介護予防ケアマネジメントなどで総合的に高齢者の生活を支援している地域包括支援センター。堺市の南第二地域包括支援センターは堺市の

の家族が運営しています。同センターでは、職員たちの工夫により料理のレシピ冊子作りなど独自の取り組みを展開しています。近年地域の人たちに好評なプログラムは「ラジオ体操」です。

* コロナ禍で外出自粛要請が出始めた3年前、閉じこもった地域の高齢者の様子を知るにはどうしたらよいか?と職員たちが考えだしたのがラジオ体操でした。センターは、最近整備された原山公園の入り口にあり、外は緑いっぱいですが、広々「密」にならずに体操ができます。

はじめは週1回の活動でしたが、地域の人たちの周知が広がり、そのうち毎週火曜と木曜朝9時15分から行うようになりました。火曜日は、同センターがあるマンションの花壇手入れの活動日なのでそのメンバーも加わり毎回約20人は集まります。

初回から参加している男性は、「腰が痛くて体操できるかな?」と不安を抱えての参加でしたが、これまで皆勤。「腰の調子が良くなった」と、ラジオ体操の効果に大喜び。最近では、体操の後、職員指導による口腔体操も実施しています。

職員さん 登場

⑫

故郷の家 介護職員
中島栄二さん

なかしま

体力勝負の介護の現場。多忙を極めるなかマラソンで身体を鍛え気持ちも整えている職員がいます。故郷の家の介護職員として働く中島栄二さんです。中島さんは、今年2月26日に開催された「大阪マラソン2023」にも出場。職員たちも応援に駆けつけ熱い声援を送りました。結果、4時間19分44秒の自己ベストで見事完走！また、中島さんのお母様の陽子さんも故郷の家の職員でした。福祉の心のバトンを受け継ぎ2代に渡り介護の現場で働きます。

大阪マラソンで快走！



陽子さんが病氣療養のために故郷の家から離れているのに入れ替わるようにして故郷の家に入職しました。

登山から

やがてランニングへ

学生時代、金剛山での登山を経験し、自然に魅了され、登り切った達成感に強く心を動かされます。

中島さんは大阪育ち。高校卒業後いったん社会人として働いたのちに退職。再就職を模索していく中で資格を取得したいと思い、「福祉」を選びました。母・陽子さんは、故郷の家創立間もない2002年3月から2007年7月まで職員として活躍していました。中島さんは、初任者研修を受けた頃に母の病気を知ります。

社会人になつても山登りを楽しんでいく中で「もつと進みたい」「もつと楽しみたい」と思い、未舗装地や登山道走る「トレイルランニング」というスポーツを知りました。そして、走る力をつけるため、近所の道を走り始めたのがランニングのきっかけでした。

大阪と奈良の府県境を通る「ダイヤモンドトレイル」といわれる、通常なら3日かかる山道も、1日で走りきったそうです。実は、陽子さんも登山が趣味でした。ランニングをするうえで何か目標をと「神戸マラソン」でフルマラソンデビュー。その後も20回以上マラソン大会にエントリー。海外のマラソン大会にも参加し、いずれも完走しています。コロナ禍でも人のいない道を探して練習。今年4月には長野マラソンに挑戦しました。



仲間たちはうちわを持って応援

走ることでストレスが吹き飛ば、ストレスを考えなくなるので休日や勤務前後の時間があるときには必ずランニングや登山をします。糖尿病の持病があり、ランニングの強度によっては身体にダメージを与えるので、あくまで自分のペースで自己責任のもと活動しています。

チームワークの良い職員たちは、いつしか中島さんの活動を知り大阪マラソンの応援に。当日はとても寒い日でしたがマラソンで一番辛さを感じ

る30kmを過ぎた地点で手作りの応援うちわを手に、熱い声援を送りました。「一番しんどい時に声援が聞こえ、笑顔が見えて本当にうれしかったです」と中島さん。

介護の仕事では、ご利用者の喜んでくださる顔を見ることと、「ありがとうね」と、言ってもらえる時が一番やりがいを感じる時。ご利用者一人ひとりの尊厳を大切に、その人にしっかり向き合うことを仕事の信条にしています、とのこと。

やっと会えたね！ 面会再開

新型コロナウイルス感染対策のため、故郷の家では長らく中止していた面会ですが、このたび制限の一部を緩和して再開いたしました。入所者様も家族様も、「会いたかったよ！」「元気そうでよかった」と喜ばれる様子に、やはり直接顔をあわせて言葉を交わしたり、視線を合わせることでお互いにより一層安心できることや、当たり前のことが普通に出来るありがたさを実感いたしました。

今後、感染状況等を見極めながら、さらに緩和を進めていく予定です。



介護予防やリハビリに!

ワンポイント体操

頭痛緩和ストレッチ

故郷の家 機能訓練士 中橋 学

頭痛の原因は様々ですが、今回は主に姿勢の悪さが原因での頭痛、身体の疲れが原因での頭痛についてお伝えします。

頭痛は筋肉の緊張が原因で引き起こすことが多く、姿勢の悪さ・睡眠不足・疲れなどで症状が出やすくなります。

■ 僧帽筋ストレッチ

- ①頭を両手で包み、ゆっくりと首を下に向けていきます。首の後ろが伸びてきた感覚が出るところで止め、大きく深呼吸を3回おこないます。(この際、息をしっかりと吐き切るようにしてください。)
- ②片手で頭を押さえ、斜め前方向にゆっくりと首を倒していきます。頭を倒す方向の対角線側の筋肉が伸びる感覚が出るところで止め、大きく深呼吸を3回おこないます。(息を吐き切ります)※左右行う。



■ 頭皮マッサージ

頭蓋骨の表面には筋肉が膜のようについており、筋肉が硬くなることで頭痛を引き起こすことがあるために、頭皮マッサージは頭痛緩和の効果が期待できます。

(すべて目線を前に向けてる、かつ、座った姿勢で行ってください)



- ①頭の真上部分を両手で包み込み頭皮を前後左右に動かします。
- ②頭の後面部分を両手で包み込み頭皮を前後左右に動かします。
- ③頭の側面部分を手の平で軽く押さえ回すように動かします。

3年ぶりに追悼礼拝

故郷の家で2月19日、追悼礼拝が行われました。追悼礼拝はコロナ禍により2019年3月以来途絶えており、3年ぶり。この3年間に亡くなられたみなさまを偲び、利用者様や職員たちがともに、お祈りを捧げました。神戸では昨年6月に、また京都では12月18日に行いました(9ページもご参照ください)



ヘルシーな
韓国料理

いかムチム(いかの和え物)

故郷の家・東京 管理栄養士 内藤 美幸

茹でたイカとキュウリを、コチュカル・コチュジャン・お酢ベースのヤンニョム(合わせ調味料)で、和え物にしました。

今回はきゅうりとねぎのほかに旬の新玉ねぎを使用しましたが、エゴマやセリなど好きな野菜で作ることも可能です。韓国ではソーメンと和えて食べることもあるそうで、食欲のない日にも美味しく召し上がっていただけます。



材料 (8人前)

いか	2杯	A
きゅうり	中1本	
新たまねぎ	1/2個	
ねぎ	1/2本	
塩	小1	
砂糖	小2	B
コチュジャン	大1	
コチュカル	大2	
醤油	大1	
みりん	大1	
酢	大3	
梅エキス	大1	
砂糖	大1	
塩	小1/2	
胡麻	適量	
きざみにんにく	大1	

※梅エキスがない場合は砂糖でも代用可

作り方

- ①いかは内臓をとりきれいに洗ったあと、沸騰したお湯でゆでて火を通す。頭と足を落とし、縦1cm幅に切る。
 - ②きゅうりとねぎは縦半分に切り薄く斜めにスライス、玉ねぎは薄くスライスする。きゅうりと玉ねぎにAを加え、10分~15分置く。手で絞って水気をきる。(A2)
 - ③(A2)に長ねぎとBを加え、混ぜ合わせる。
 - ④最後に上から胡麻をふりかけて完成。
- ※味が薄ければお好みに合わせて、醤油や塩、砂糖で味を調節する。

菓子づくりから「街づくり」へ 夢は広がる

インタビュー 中島 孝夫 さん

「口ほおばると誰でも笑顔になり幸せを感じるスイーツ。今号は和洋菓子製造業の老舗「中島大祥堂」取締役会長の中島孝夫さんに「登場いただきました。中島会長は、110年の歴史を誇る菓子製造業の8代目。菓子職人でいながら常に先を読む力で経営も牽引。敬虔なクリスチャンで実業家でもある中島会長は、約40年前から当法人（この家族のルーツ・韓国木浦共生園に寄り添い、田内千鶴子生誕110周年記念行事「日韓コンベンション」なども支援してくださっています。いつも向上心があり、夢を抱く姿は少年のよう。お菓子製造の修業で何度もドイツを訪れていたこともある中島会長はヨーロッパ仕込みの気品あるジエントルマンでした。」



——当法人との出会いのきっかけを教えてください

中島 私が所属している大阪桃谷教会（日本ナザレン教団）が教会行事として、田内文枝さん（現・総括理事）を招いてお義母様・田内千鶴子さんの話をしてもらおうと企画を立て、講演してもらったことがきっかけです。約40年前です。私もその行事に積極的に参加。そして田内さんの話に感銘を受けた教会員たち10人ほどが、韓国の児童養護施設・共生園の子どもたちの里親になりました。私は広い形の「里親制度」を支援させてもらっていました。

——昨年、韓国木浦で開かれた「田内千鶴子生誕110周年記念式典」と「日韓キリスト教コンベンション」に参加下さいました。感想を聞かせてください

中島 木浦へは以前から訪問したかったので実際行けてとても良かったです。木浦は、海あり、山あり、食あり、そして歴史や人情も厚くとても印象深かったです。そして、尹基理事長がずっとお母様のことを思っていてその想いを持続させ、木浦や日本でも福祉を広げられたことは深く尊敬しています。

——中島大祥堂の歴史を教えてください

中島 元々京都で創業し、有名なお寺の菓子司をしていた和菓子屋でした。6代目となる私の祖父がもう一旗あげようと大阪に移り、都島に工場を作ったのが現在の会社の原点です。大正元年に創業したので、「大祥堂」と命名。祖父はそんな趣味人でした。

——お生まれはどちらですか

中島 大阪市都島区です。

——子どもの頃の思い出を教えてください

中島 私は、3人の妹がいる長男です。第2次世界大戦が勃発して食料がなくなり始めたころ、幼稚園から帰ると我が家が大勢の人が行列を作っていて驚いたことがあります。私の家が砂糖の配給元になっていたのです。お菓子工場にはまだ砂糖の備蓄があったため、それを配給し

たんですね。

——戦時中の暮らしはどうでしたか

中島 大戦が激しくなる頃、大阪でも郊外の私市（きさいち）に家族で疎開。都島は30キロメートルほど離れた場所でしたが、大阪大空襲の時は、都島方面に火の手が上がるのをこの目で見ていました。工場は全焼。全部その辺が焼け野原でした。終戦は国民小学校2年生の時。父は再建に奮闘し、天王寺区で工場を再開。ゼロからのスタートでした。

——お父様もすごいバイタリテイです

中島 あの頃は、みんな苦勞していた

闘病生活の中、信仰と出会った

——入院生活は何年になりましたか

中島 3年に及びました。高校退学後は羽曳野病院（現・大阪はびきの医療センター）に入院しました。ベッドで安静にしているとある時アナウンスがでてね。「集会所でキリスト教のお話がありますから来てください」と。その声に惹かれて私は集会所に向かいました。

——集まりは、特定の宗派には属さない日本ミッションという団体が開催。ファーバー宣教師が病院にこられて熱心に聖書の話がされていました。ちゃんとした聖書もなければ賛美歌もない。わら半紙に聖書の一部と賛美歌の一部をガリ版刷りしたものを配られて、それが信仰との出会いです。

——闘病が導いてくれた

中島 それから毎週のように集会所に参加するようになりました。私は3年で一応退院して、元の高校を受験し直して合格しました。3歳年下の同級生たちと高校生活が始まりました。

——日本ミッションというところがね、退院した人たちを訪問して、教会へ繋いでくれる活動もしていました。教会が桃谷にあるから一緒に行きましょよと何回も誘われて、大阪桃谷教会で礼拝を守るようになりました。すると教会が楽しい。私が楽しそうに教会生活を過ごしているのを見た日本ミッションの人たちが、退院した人たちを誘うようになり次から次へと教会に人が来るようになりました。若い世代が増えてカップルもできました。

——その当時の教会の仲間とは今もずっと一緒にやっています。アガペー宣教会の牧師・高原幸男さんも当時の仲間です。教会は未だに楽しいです。

——かけがえのない仲間ができた

中島 その後、関西学院大学法学部に入学。教会でよく知っている偉い先生が宗教部長になられて、私は宗教部に

ました。

——ご自宅も天王寺に移ったのですか

中島 いえ。私は郊外での小学校に通っていました。でも、父が何を思ったのか、私の中学進学にあたり、天王寺区の中学に入学させることを望み、私は越境入学しました。

——天王寺の中学校は出来たての学校でしたが、田舎から毎日1時間半ほどかけて通学しなければいけませんでした。元気だった私もその通学などの無理がたたったのか、中学3年には結核にかかっていた。それは、後から分かったことですが。高校に入学してすぐの健康診断で結核と分かっただけ。「これは大変だ！」とサナトリウムに送られたんですね。

——早く退院して勉強したいと思っていましたが、2つのサナトリウムで療養しても治らない。結局、治療に専念するため高校を退学しました。

——進学したばかりでしたのに

中島 私の闘病中に薬が発見されましたが、それまでは亡くなる方が多くて。同じ病院にいた身近な人が亡くなるという衝撃を高校1年生という多感な時期に経験し、多くの事を学びました。

信仰と出会った

——所属して活動しました。法学部にもクリスチャンの先生もいらして、ヘブル大学のローマ法のゼミを受けてその先生とも親しくさせていただきました。

——牧師になろうとは思われなかったのですか

中島 牧師どころか、まだ病人でしたので将来のことまで考える余裕すらありませんでした。とうとう大学在学中に手術を受けましたが、仕事に就いてからも病氣への不安は消えることはありませんでした。

——その後1965年（昭和40年）に卒業、父の会社に就職、そして結婚もしました。

——おめでたいことが3つも！ 奥様とのなれそめを聞いてもいいですか

中島 再合格した高校で、同級生のある女の子に誘われて美術部に入部。その子が今の妻です。3歳年下の同級生です。

本場で学んだドイツ菓子

——会社ではお菓子作りの修業から始められたのですか

中島 戦前はおもに和菓子製造でしたが戦後は洋風のお菓子がはやりと、父が洋菓子を始めました。その父の元で修業をスタート。私はドイツ菓子の製造を始めました。ドイツにも何度も足を運び、腕を磨いてきました。ヴァッフェルなどドイツでは知られたお菓子だけど、まだ日本では販売されていないお菓子を製造し日本で広めました。やり始めたからおもしろくてね。仕事を始めて5年後の1970年、大阪で日本万国博覧会が開かれることになり、工場を天王寺から東大阪に移転。最新設備を整えた工場で洋菓子「太陽の子」などを製造。これがヒット商品となり会社は右肩上がりに。私も活躍できたことが嬉しかったです。

——今では大阪タカシマヤや、東京の六本木など国内10店舗もありますね

中島 私の代までは自分の店を持たず製造を専門にし、菓子問屋を通して販売する問屋商売をしていました。店舗販売を始めたのは私の長男。9代目です。

——それぞれが新たな事に挑戦しながら歴史ある事業を継いでいかれているんですね

70歳から学生生活

博士号を取得

中島 私は70歳に手が届いたときに長男に社長を譲って、それから勉強を始めました。自宅が近かった大阪商業大学に進学。毎日毎日通い、経営革新と地域政策を学び、博士号を取得しました。

——70歳の大学生に！

中島 研究ばかりではなく、お菓子組合協会の会長職や会合、ロータリークラブの活動もしながらの学生生活でした。教会活動もしていました。私はクリスチャンであって、ビジネスマン。韓国にはね、中小企業のクリスチャンがたくさんおられてそれなりの活動をしていた。日本でも実業人を作ろうと考えて東京と名古屋、大阪の実業人に集まってもらいアジア大会を日本でやろうと、シエラトンホテル都ホテルで開きました。2000年からはビジネスを通じた宣教を目指す「日本CBMC」の協力で教団教派の垣根を超えて集う朝の祈祷集会を毎週開催。3月24日の祈祷集会で1175回になります。今の教会生活は、毎週の礼拝、祈祷会、朝集会です。

——これからの夢、やりたいことはありますか

中島 それがあるんです。86歳になると、みんななかなか本気になって聞いてくれなくてね（笑）

10年前、兵庫県丹波市柏原町の藁葺き民家にお菓子を中心としたパティスリーと、厨房の中央に薪窯が鎮座するカフェを新設しました。同じ丹波市に農園も作りお菓子の材料となる栗の木を何百本と植えた。それがやると実り、自社農園の安心な栗で作るモンブランが大人気となりました。全国各地からお客さんが訪れてくれ、賑わっています。これはSNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）のおかげです。SNSの発信で商いの方法が変化してきました。

次は柏原町の駅前に、介護に疲れた女性たちの癒やしと安らぎの空間、レストハウスの作りたいたいと思っています。女性の安息日を作るレストパイクエアです。ハウスとバラ園、バラ園の中にレストラン、メイカルハーブ園も開きたいとガーデニングの勉強中です。柏原は静かな街ですが、宣教師がやってきて宣教と事業も始めた場所なんです。

——予定地の真つ正面には教会もあります。新たな施設には教会や地域の人も協力してもらい、みんなで「街づくり」をしていきたい。大学で勉強した地域政策学がここで活かされると思うとワクワクします。ほかにも趣味で地中海の島々の歴史の研究という本も書きたいと思っています。

*

中島 孝夫（なかじま たかお）

株式会社中島大祥堂取締役会長。地域政策学博士。日本ナザレン教団桃谷教会会員。全国半生菓子協会元会長。

1938年、大阪市都島区生まれ。65年関西学院大学法学部卒業。同年中島大祥堂入社。2014年大阪商業大学大学院卒業。21年旭日単光章受章。

おひる

堺・大阪・神戸・京都・東京

「故郷の家」各施設のホットな話題をお伝えします

※各施設のブログもご覧ください。QRコードからどうぞ！

3年ぶりの追悼礼拝

昨年12月18日の年の瀬に、コロナ禍の影響で3年ぶりとなった追悼礼拝を行いました。

京都南部教会の新井牧師先生とともに過去3年間に亡くなった方に祈られた故人を偲び、礼拝を捧げました。また、入居者様、職員共に献花台にお花を手向け、故人の写真を前にして、各々思いを込めて、手を合わせました。

過去のみなさんの笑顔の写真を前にして、多くの悲しみもありますが、施設の行事や取り組みを通して、楽しい思い出もたくさんよみがえってきて、たいへん有意義な時間となりました。



京都



桜をバックに 記念撮影

3月下旬、敷地内の桜が満開となりました。天気の良い日が続き、気温も温かくなったので、各ユニットの職員さん達とお花見をしました。

入居者様からは「きれいやね」との声。「あと何回桜が見られるかしら…」と物思いにふけておられる方もいました。

桜をバックに写真撮影。その写真を家族様の携帯に送ると、たいへん喜ばれていました。

今後も、楽しい企画、イベントを行っていききたいと思います。

堺



今年も桜が咲きました

今年も桜の開花が早く、施設内の2本の桜の木も3月終わりには満開になりました。

「今のこの季節を、少しでも楽しんでいただきたい」と介護職員が日常業務の合間を見ながら、ご利用者様数名ずつエントランスにご案内。

風に揺れて散る花びらをご覧になって、「綺麗やなあ〜」と笑顔も満開でした。



久しぶりの お抹茶とお菓子

国際ソロプチミスト大阪・南陵の皆様より、ご利用者の皆様へお抹茶を振舞っていただきました。

長年抹茶サービスのボランティア活動として、続けてくださっており、ここ数年のコロナ禍の時は、ご利用者様全員分の和菓子の差し入れを継続して下さっていました。感染対策のもと、久しぶりに一人分ずつ丁寧に立てていただいたお抹茶は大変美味しかったです。

皆様とてもいい笑顔で、お抹茶とお菓子を召し上がっておられました。



お天気上々、気分は晴れ晴れ



近くの公園でお花見を楽しんできました。お天気も良く、皆様の気分も晴れ晴れです。気持ちよく吹いた風に桜の花びらが雪のように降ってきて、白い絨毯のような散策路を歩きました。「春が来たな」、「うわー、綺麗だな」と春をお肌で感じたお花見となりました。



ひな祭りには甘酒!

3月3日はひな祭り!!

おひな様の前で、「わー素敵」、「立派なおひな様」、「懐かしいわ」、「昔はね、こんな豪華なことではできなかったのよ。今はいいね」と感想を話し合いました。その後は、飲む点滴といわれる「甘酒」。甘くて温かな甘酒を味わいながら、免疫力もアップ、その場を楽しみました。



東京

寿司フェアは「大大大満足」!

3月18日・19日と神戸デイ・真野デイ・特養で寿司フェアを行いました。

どのフロアでも大好評で、お替り分に用意していた寿司もすぐ完売になるほど。デイサービスでは、厨房の職員が、目の前で寿司を握る実演も行い、いつもと違う雰囲気の中で楽しく食事が出来ました。

大大大満足の評価を頂いた寿司フェア、誤嚥のリスクも考慮しながら今後増やしていけたらと考えています。



神戸



熱い緑茶を飲みながらお花見

3月末から特養ご利用者全員を対象に、1日10人程度のペースで近くの公園に花見に行きました。今年には急須で熱い緑茶を入れ、陶器のコップで飲んで頂き、熱い緑茶を飲みながら満開の桜を眺めるひと時を楽しみました。外出自体も久しぶりの為、皆さん大変喜ばれていました。帰り道でご利用者一人が「故郷の家にも桜があつたら毎日花見できるのね」と。また来年、楽しみにしてくださいね!

■ 共生園 (養護施設)

遊びのように科学を楽しむ国立光州科学館体験

儒達小1年の新入生8名が科学への好奇心や創造力を育むことのできる国立光州科学館に行ってきました(右)。

音楽に合わせて登場する楽しいダンスロボットショー、4D映像、プラネタリウム、航空宇宙特別展示会などを観覧。いろいろな科学を直に見て、聞いて体験する貴重な時間でした。ドキドキワクワクで新学期をスタートする新入生の子どもたちを応援してください。



■ 共生再活院 (知的障害者施設)

木浦基督男声合唱団と水仙花合唱団が協演

木浦文化芸術会館で開かれた第3回木浦基督男声合唱団の定期演奏会で、共生再活院の水仙花合唱団をはじめ、貞明女子高校合唱団、木浦市民合唱団、スイート合唱団が協演しました(左)。

感動のステージに送られた観客の拍手や歓声はイースターに主に捧げる喜ばしい賛美となりました。

■ 木浦障害者療養院 (重度障害者施設)

地域住民と一緒に映画鑑賞

「希望プラス奉仕団」のご招待で、50名の障害者と職員がCGV木浦平和広場店で行われた映画鑑賞イベントに参加しました(右)。

奉仕団の皆さんが準備してくださったこのイベントを通して、とても暖かくなった春の日をみんなで楽しむことができました。新型コロナ以降、映画館で4年ぶりに味わうポップコーンも最高に美味しかったです!



▶8年前に夫とソウルからKTXで木浦に行きました。11月1日に木浦に行きたいです。(堺市・Kさん)

▶とても読みやすかったです(字も大きいのですし)。りっぱな紙質でした。これからも末長く頑張ってください。コロナがこのままずっと落ち着いたらいいいですね。(姫路市・Kさん)

▶胸の痛むニュースが多いです。尹基理事長さまの「祈り」、本当に尊いお祈りです。私も祈ります。ありがとうございます。(京都市・Tさん)

▶「こころの家族」の仕様が美しく読みやすくなりましたね。(奈良県橿原市・Tさん)

▶日本と韓国が仲良くなるのは大歓迎です。しかしこれから米韓日の軍事同盟強化のための政治的な思惑だったとしたら、恐ろしい。平和外交こそ望みます。(京都府宇治市・Nさん)

▶主の聖名を賛美いたします。「祈り」。何度か読み返しました。良かったです。そして私も祈ります。昼の間に働きましょう。夜が来て働けなくなる前に精いっぱい働きましょう。そして神様に栄光お返しいたします。(堺市・Oさん)

▶ベトナムで日本語を習得し、故郷の家・京都で特定技能職員として立派に働いている方達にエールを送ります。(京都市・Kさん)



皆様のご支援に感謝申し上げます



2023年2月～2023年3月 寄付合計 3,623,480円

堺	172,537円	京都	983,000円
大阪	18,093円	東京	1,232,794円
神戸	39,056円	法人	1,178,000円

2023年2月～2023年3月の寄付者 (敬称略)

枝川 愛の教会 匿名希望者 土井 康晴 故郷の家・募金箱 中嶋 美恵子 財団法人聖バルナバ病院 サマリヤ会 李 善恵 故郷の家・東京職員一同 青山 洋 藤原 一臣 ㈱スポーツ寿苑 代表取締役 鄭 貞子 佐藤 美津子 夫 昇培 大林 成子 尹 日鉉(伊藤 日鉉) タキザワ オリエ 観寺 伊津美 ながやま歯科 永山 成大	松下 令子 田内 緑 多胡 元喜 「ハートサービス運動」 募金箱 株式会社ヤマエンタープ ライズ 代表取締役 池 正淑 埼玉・コリア21 小川 満、小川 厚子 多田出 佳代子 岡 真由美 藤原 興 長野 初香 松岡 虔一 オートプロ島田 島田 隆男 在日大韓基督教 京都教会 在日大韓京都南部教会 大阪府共同募金会堺地区 募金会	吉澤 まゆみ 鈴木 仁 平沼 慶秋 河 英子 田中 京子 ㈱グローバル 代表取締役 川島 忠義 藤本 洋子 浅野 和子 増山 律子 カルメル修道院 岩本 絹子 大友 陽子 磯村 達三 磯村 和子 四宮 章夫 京都韓国教育院 李 龍薫 都賀 潔子 太田 清孝 李 守陳	中村 啓子 藤田 裕之 畑 正樹 畑 有紀 星田 正雄 金 慶光 ペン株式会社 金氏高麗人参株式会社 金山 委智夫 (有)テラヲ貨物店 飯野 毅與志 小畑 雪枝 鄭 智子 ヴォーリス学園 道城 献一 小林 四郎 松井 政男 杉 浩二 宮原 智文
---	--	---	--

2023年2月～2023年3月の寄贈者 (敬称略。すべての方のお名前を記しているわけではありません。ご了承ください)

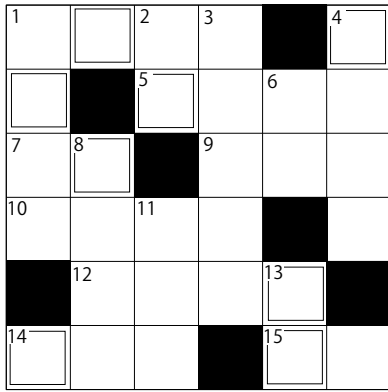
■故郷の家(堺) 柳生 民枝ご家族 張李 瑞貞ご家族 晋山 敏男ご家族 蔡 俊洙ご家族 武吉 文子ご家族 栄山 ふみ子ご家族 平山 幸子ご家族 あゆみ介護センター ながやま歯科 永山成大 米田 眞理子 小田 ヒターナ 金井 晃枝 金 一姫	安田 より子 山内 宣宏 金谷 小香 ご家族 吉本 タツエ ご家族 多聞 みゑ子ご家族 浅野 和子 中西 久理子 津田 智恵子ご家族 上野 勉ご家族 呂 錦順ご家族 岡田 邦雄ご家族 金 泰淑ご家族 金光 永文 宮崎クリニック 井上 美鈴 鶴峠 江美子 岡本 みやのご家族 大島 順子ご家族 宮本 鉄哲ご家族	■故郷の家・京都 伊藤 瑛子ご家族 羽谷 守子ご家族 栗原 美代子ご家族 利川 貞子ご家族 林 順子ご家族 澤田 千代ご家族 古川 友子ご家族 星 保子 ご家族 山井 久子ご家族 梅林 禮子ご家族 富田 恵子ご家族 崔本 和男ご家族 久光 貞夫ご家族 宋 夏子ご家族 國富 節子ご家族	柳口 典子 大山 勝利ご家族 芳賀 初子ご家族 安 江一ご家族 柳 花子ご家族 中村 一義ご家族 藤田 トモ子ご家族 利根川 恭子ご家族 金子 和子ご家族 橘 郁子ご家族 齋藤 實ご家族 河 貴明 柳川 良子ご家族 大友 國次ご家族 瀧澤 トミ子ご家族 小船井 ハツイご家族 東京東部教会
■故郷の家・神戸 上原 善子 岩本 絹子ご家族 松永 紀元ご家族	■故郷の家・東京 柳澤 タケ子ご家族		

2023年2月～2023年3月の来訪者・ボランティア (敬称略)

■故郷の家(堺) 国際ソロプチミスト 大阪・南陵 泉北梅教会	■故郷の家・神戸 ボランティアさんの 受け入れなし	■故郷の家・京都 ボランティア様の受け 入れなし	■故郷の家・東京 中島 榮美 東京大学総合情報学 研究科総合情報学専 攻の実習生	香川 優真 坂田 陽朗 倉井 七海 山口 愛梨
---	---------------------------------	--------------------------------	--	----------------------------------

◆ クロスワードパズル ◆

※前回の答えは「ニューガクシケン」でした。
二重マスの文字を組み合わせてできる言葉を答えてください。



- ① 大阪には府庁、兵庫県には県庁、では東京には？
② ー について：…ようい、ドン！
③ 使途。
④ 「プラチナ」ともいわれます。
⑤ ー は熱いうちに鍛えよ。
⑥ ー ↑ ↓ 終わり
⑦ ギター、ピアノ、ウクレレ、ドラム…。
⑧ からかうこと。

↓
タテのカギ

→ ヨコのカギ

- ① ー 地方選挙。
⑤ 一部、地上を走ることもあります。
⑦ 波がおさまった後も、なお残る波。
⑨ 土 ー、百姓 ー、農民 ー。
⑩ 同じ地域に住む人々が共同で祭る神。
⑫ 細かく砕いて粉末にした緑茶の葉。
⑭ 自分の力。
⑮ 豆乳を煮つめたときに表面にできる被膜をすくい取ったもの。

プレゼント



正解者の中から3名さまに鮮やかな色使いが楽しい韓国製小銭入れをプレゼント。

応募は、はがきにクロスワードパズルの答、住所・氏名・電話番号をお書きのうえ、〒590-0142堺市南区檜尾3360-12「故郷の家・クイズ係」まで。6月10日締め切り。

本誌をお読みになった感想、メッセージなどもどうぞお書き添えください。お待ちしております！

在日韓国老人ホームを作る会の働きにより「こころの家族」が誕生しました。

発行人：田内文枝 編集人：尹基 編集：多胡元喜、佐東まゆみ
法人本部 〒590-0142 大阪府堺市南区檜尾3360-12
☎072-271-0881 Fax 072-271-5474
http://www.kokorono.or.jp
E-mail: kazoku@kokorono.or.jp



お読みになった後はお隣の方にもおまわし下さい

- 故郷の家（堺） 大阪府堺市南区檜尾3360-12 TEL 072-271-0881
ブログ <http://kokyosakai.blog40.fc2.com/>
- 故郷の家・神戸 兵庫県神戸市長田区東尻池町7-4-21 TEL 078-651-1555
ブログ <http://kokyokobe.blog40.fc2.com/>
- 故郷の家・東京 東京都江東区塩浜1-4-48 TEL 03-3644-0555
ブログ <http://kokyotokyo5.blog.fc2.com/>

ようこそ こころの家族へ

こころの家族は、韓国の地でキリスト教精神に基づき、愛の生涯を全うした田内千鶴子の志を受け継ぎ、民族・文化を越えて高齢者、児童、障害者と共に生きる社会づくりを目指します。

ご参加ください

- A) 愛の寄付金 自由な金額
- B) 賛助会員月 1,000円（年1万2千円）
- C) 留学生支援 月5,000円（年6万円）
- D) 1%会員 （所得、売上、祝儀、遺産、感謝）
- E) 1坪会員 35万円（堺）、45万円（神戸）、30万円（京都）、100万円（東京、大阪）
- F) 建設会員 100万円

海外協力事業

こころの家族は韓国尹鶴子共生財団が支援する、下記の施設運営および事業に協力しています。

共生園、共生再活院、木浦障がい者養護院、イエソン自立院、務安自立院、全羅南道家庭委託支援センター、国連世界孤児の日制定推進運動

ご送金の方法

- 郵便振替 □口座番号：00940-0-329280
加入者名：社会福祉法人こころの家族
- 銀行振込 銀行名：三菱UFJ銀行
支店名：光明池支店 普通1052623
口座名義：社会福祉法人こころの家族

寄付申込書

年 月 日

* 寄付申込書は下記まで FAX で、または郵送でお送りください。

FAX 072-271-5474

ふりがな
お名前

連絡先 〒

(自宅・会社)

TEL

FAX

ご寄付内容 ※支援先（施設名、事業名）を具体的にお書きください。

- （ ）として（ ） □ 寄付します。
- 海外協力事業に（ ） □ 寄付します。

本法人は統一教会とは関係ありません